

Lutone...



社会と刑務所を“つなぎ”



明るい未来を“灯す”ために



長崎刑務所編



長崎県諫早市小川町に所在する「長崎刑務所」は収容定員812名の矯正施設。

長崎刑務所は、知的障害受刑者処遇支援モデル事業など、矯正における多くの施策を実施する施設であり、多くの注目を集めている。

そんな長崎刑務所で行われる刑務作業では、高品質な刑務所作業製品が製作されており、地域の矯正展や即売会において大きな反響を得ている。

そこで、この長崎刑務所において製作されている刑務所作業製品と、長崎刑務所で実施される施策の一つである防衛省受託作業、それらの実態を調査すべく長崎へと向かった。



長崎刑務所旧正門

平成4年7月に長崎刑務所は現住所に移転しており、移転前の土地には当時の正門が残されている。

長崎刑務所では、主に洋裁、金属、木工製品が製作されている。

洋裁工場ではミシンを踏む音で施設の洋裁作業の活況さが伝わり金属工場では、大きな金属音を響かせ、受刑者は作業を粛々とこなしている。その作業風景は工場の窓などに鉄格子がなければ一般社会にある工場と何ら変わらないであろう。

今回フォーカスするのは、防衛省受託作業として、海上自衛隊における作業服を製作する洋裁工場。

そして、昨年度法務大臣賞に輝いたバーベキューコンロを製作している金属工場である。

これら工場ではどのような職員が、どのような受刑者と、どのように向き合いながら日々作業を実施しているのか。

一方は、国防の一翼を担う作業服

一方は、国民の笑顔を囲むバーベキューコンロ

それぞれ製品の役割は違えどその用途は、かけがえのないものである。

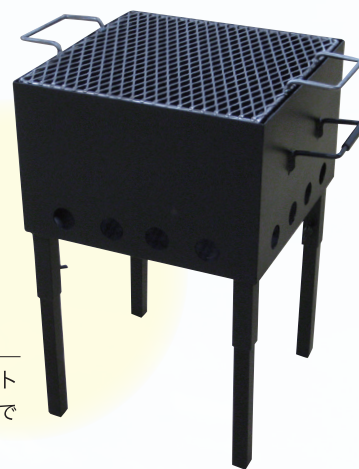
この作業に携わる人それぞれの思いを、それぞれの立場から聴いていこうとしよう。

長崎刑務所 刑務所作業製品



しおり(長崎)

竹を編み込んで作られた温かみのある一品



バーベキューコンロ(長崎)

キューブ型のコンパクトコンロで、組立も容易で丈夫な一品



令和6年度
法務大臣賞受賞製品

楽BBQグリル(長崎)

コンパクトに折りたたむことができる折り畳みコンロ



ランチョンマット(長崎)

和柄でモダンな仕上がりで両面リバーシブルに使用できる。

担当する受刑者との接し方について

懲役刑から拘禁刑に変わり、現在の法律に合った処遇を行うことを心掛けています。受刑者には、厳しさの中に温かみをもってその人個人の特性を意識して処遇しています。

受刑者に指導する際 重きを置いていること

業務において、ミスを減らすには確認が重要となってきます。受刑者にも必ず確認を行うよう指導を繰り返しています。

その結果良い製品が出来上がっているのだと思います。

受刑者に作業を通じて期待すること

私たちが受刑者と接することで最も期待することは、彼らが改善更生し、社会復帰することです。

そのため、作業を通じて協調性を重んじてほしいと考えています。

彼らが社会復帰した時にはその協調性をもって、円滑に社会定着してもらえればと考えています。



工場 担任者

岩永看守部長

平成17年4月拝命

趣味は釣りであり、最近釣った大物は石鯛62.5cmとのこと
釣りも仕事もできる男！



作業 専門官

溝口作業専門官(洋裁)

平成13年4月拝命

趣味は晩酌であり、バイタリティーあふれる仕事人

防衛省受託作業

防衛省受託作業を担当するにあたり

防衛省からつなぎ服製作の作業が入ることになったときは予備知識ゼロからのスタートだったのでいろいろと苦労しました。

つなぎ服は特殊な形状をしており、衣類に対する専門知識を持つ作業専門官に協力をいただき、その他、様々な協力を得ながら試行錯誤の末、何とか製品にすることができました。

製作した製品に対する思い

このつなぎ服を着て、自衛隊の皆さんは国防に係る業務を遂行していると考え、この作業は国防の一翼を担っていると考え、一着、一着を丁寧に仕上げさせています。

受刑者指導で重要なもの

どうせやるなら楽しくを心掛け、何事も前向きに作業をするように受刑者にも動機付けを行っています。

でなければ、良いものはできないと思いますし、作業をする受刑者の気持ちも入っていかないとと思うんですよ。

何事も前向きにそういう姿勢を学んでもらいたいです。

受刑者Aさん / 作業歴5年

作業を通じて学んだこと

協調性の大切さを学びました。

作業者には得手不得手があり、それぞれの作業者が支えあいながら作業を進める必要があります。その中で協調性のない行動はトラブルに発展してしまいます。

そうならないためにも日々人には気を使って作業しています。



つなぎ服の縫製で苦勞すること

つなぎ服は上衣と下衣が一緒になっている特殊な服であり、ファスナーが長く、このファスナーを真直ぐに縫い付けることが難しいです。

また、作業者にはそれぞれ違う刑期が定められているため、作業者の入れ替わりも激しく、入れ替わりの際の調整に苦勞しています。

この苦勞はきっと社会復歸した際にも役立つてくると思っています。

製品に対する思い

私たちの作業が国を守ることに役立っているということに嬉しい気持ちになります。

私たちの作ったつなぎ服で自衛隊の皆さんが気持ちよく仕事ができるよう、丁寧に作業をやっていこうと思っています。

現場の声



この写真は、長崎刑務所で製作されたつなぎ服を現場で着用し、海上自衛隊の艦船や航空機の整備に従事する職員の皆様の状況を御提供いただいたものです。

つなぎ服は、海上自衛隊の整備業務において、日夜、狭い箇所での整備や激しい動きなど大変な業務に従事されている職員の皆様に御使用いただいております、

『動きやすく、丈夫に縫製されている。』

といった趣旨の大変ありがたいご感想もあると聞き及んでおります。



作業専門官

中山作業専門官

平成16年4月拝命
趣味は釣りで最近釣った大物はブリ109cm、
長崎刑務所のヒットメーカー



製品を開発の際意識していること

まず、自分が欲しいものを作るといこと。そしてそれをいかにコストを抑え大量生産につなげることができるのかを考えて製品を開発しています。

アイディアはいろいろなところにあるんですよ。

作業専門官として心掛けていること

作業者の安全第一です。それは、職員も作業を行う受刑者も同じこと。安全な環境で、良好な人間関係があってこそ作業者が一丸となって良品の製作に取組めるのです。

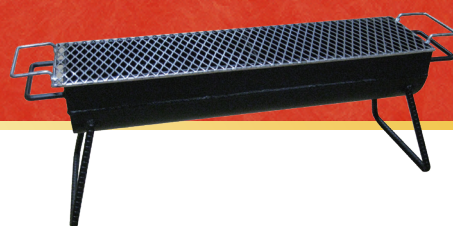
これはきっと社会でも同じことと思いますし、刑務作業で学んだことをしっかりと社会で活用してもらいたいです。

受刑者との向き合い方

人それぞれに個性があり、同じ指導で誰にでも同じ結果に行き着くわけではありません。

よって、指導方法を工夫して、誰でも同様の結果につながるように意識しています。

金属



工場担任者として業務を行うこと

懲役刑から拘禁刑に法律が変遷する中で、時代に合った処遇を受刑者に対して行うことを心掛けています。

拘禁刑下では、今まで以上に充実した処遇を受刑者に言い、彼らの改善更生・社会復帰の一助となればと考えています。

作業をとおして受刑者に学んでほしいこと

受刑者には作業をとおして人との上手な付き合い方などの社会に順応するスキルを身に付けてもらいたいです。

日々の刑務作業をとおして「誰かの役に立つ」という自己有用感を実感することが、再び社会の一員として生活する自信につながると考えています。

工場担任者

松下看守部長

平成17年4月拝命
趣味は釣りで最近釣った大物は石鯛63cm、
自らの姿勢で受刑者を律する





受刑者Bさん / 作業歴4年

刑務所作業製品について

製品を作るときは、この商品ならお金を払ってもよいと購入者が感じてもらえるように丁寧に作っています。

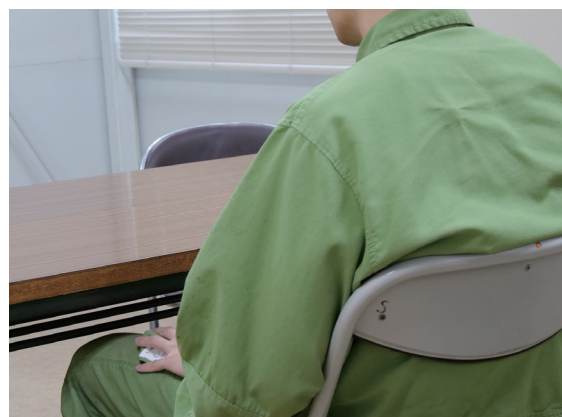
製品を購入した方々が喜んでくれると嬉しいです。

現在の作業環境について

金属工場は社会でいうところの工場に作業環境が近いと感じています。

作業を通じて学んだこと

溶接の職業訓練を受講する機会にも恵まれ、溶接の技術も向上し、作業に対するチームワークやコミュニケーション能力も成長できたと思います。



刑務所作業製品使用者の声

製品御使用者 徳永さん

主な購入製品 BBQコンロなどの
アウトドア製品

刑務所作業製品を使用するきっかけ

矯正展で長崎刑務所の金属製品を見かけ、その丁寧な作りこみに感心し、自分で使ってみてみたいと思ったことです。

実際に使ってみて

製品は、しっかり作りこまれていて大満足でした。その上、お手頃な価格であったことも嬉しいポイントです。

折り畳みコンロは友人にもプレゼントしましたが、大変喜んでくれました。

SNSに購入製品の画像を上げると、どこで買えるのかと反響が大きかったですよ。





Lutone...

2026・Winter
No.006

ルトネ 冬号



— 取材先 —
長崎刑務所

— 企画・取材・編集 —
九州矯正管区成人矯正第二課
長崎刑務所

— 発行 —
九州矯正管区
〒813-0036
福岡県福岡市東区若宮5-3-53
TEL: 092-661-1138(直通)